

宮城県さけます増殖協会設立40周年記念表彰

7月26日(金)に、令和元年度宮城県さけます増殖協会通常総会が開催され、その後、設立40周年記念式典行われました。

宮城県さけます増殖協会は、県内の内水面漁業と海面漁業が一体となってさけます増殖事業を展開していくための推進母体として設立され、持続的かつ安定的な秋さけの資源造成を目指し、種苗の質や放流方法等の改善に取り組んできた団体です。今年度設立40周年を迎え、ふ化放流事業に功績のあった関係者の表彰を行いました。

当町からは、ふ化放流事業に功績のあった関係者5名が受賞されました。



【宮城県漁業協同組合志津川支所（志津川湾さけます増殖協会）】

小野寺 耕三氏（ふ化放流従事年数21年、S46～H7）
西 條 栄福氏（ふ化放流従事年数14年、S51～H5）

【志津川淡水漁業協同組合（志津川湾さけます増殖協会）】

真 壁 眞氏（ふ化放流従事年数41年、S52～H31）
阿 部 清幸氏（ふ化放流技術指導従事年数30年、S35～H5）
須 藤 清一氏（ふ化放流技術指導従事年数31年、S50～H16）

これまで、そしてこれからも

本町と山形県庄内町が交流を始めるきっかけともなった小学生交流体験事業が、南三陸町で8月7日から9日までの2泊3日の日程で行われました。毎年交互に実施している本事業に今年は、庄内町から32人、南三陸町から28人の児童、さらに中高生ボランティア16人が参加。養殖学習をしたり、「サンオーレそではま」で、海水浴やスイカ割りを行ったりなど交流を深めました。

両町が友好町となってまもなく20年になろうとしています。今日まで、民間や行政など、さまざまな形で交流が温められてきました。取り分け震災後は、本町に対し、数々のご支援をいただいております。これからも友好関係が図られるよう小学生の交流は続きます。



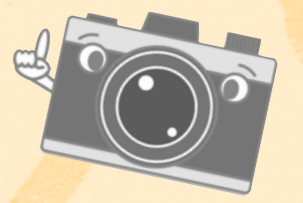
百寿のお祝い 首藤のぶ子さん (㊟童子下)

8月5日(月)、百寿を迎えた首藤のぶ子さんに、町からお祝い金と花束が贈られました。

志津川の空襲や三陸津波などつらい体験をたくさんされてきたそうですが、「なるようになる」と、いつも明るく前向きに乗り越えてきたのぶ子さん。

親戚みんなの相談役でも頼りにされているお母さんだご家族は話されます。

つらい体験をされてきたのぶ子さんですが、今はご家族に囲まれ、「子どもたちのために長生きをする」と幸せそうな笑顔を見せてくれました。のぶ子さん、いつまでもお元気で。百寿おめでとうございます。



志津川中学校少年防災クラブ全国第2位！

「2019全国少年消防クラブ交流大会」が、7月31日から8月2日に徳島県徳島市で開催され、参加53チーム中、志津川中学校が総合第2位に入賞しました。

種目は、クラブ対抗による消防ホースの延長作業や水消火栓の運搬などの障害物競走で、この大会のために生徒たちは、南三陸消防署員からひもの結び方やホースの延ばし方などの指導を受けたそうです。

志津川中学校少年防災クラブの皆さん、おめでとうございます！



(上) 三浦和佳子さん・佐藤妃万里さん・西城 真羽さん
(下) 阿部 祥大くん・三浦 誠矢くん・熊谷 和貴くん

県大会出場おめでとうございます！



志津川ミニバスケットボールスポーツ少年団がチーム結成後、初めて県大会に出場しました。

志津川・名足・伊里前小学校の生徒14名で結成されており、みんなで守ってみんなで点を取りに行くディフェンス中心の粘り強いチームだと小松・佐藤両コーチは話されます。

今は次の大会に向け、練習に励んでいるそうです。

県大会出場おめでとうございます！